

大人のチカラ

～子どもたちの未来のために～

21

「23が60読書運動」で 家族読書を習慣に

読書で深める家族の絆③

県 教育委員会では、毎月23日を含む1週間に、合計60分以上の家族読書をする「23(にさんが)が60(ろくまる)読書運動」を推進しています。積極的に読書を楽しむ家庭を表彰していますが、今回はその一例を紹介します。

2週間に1度は 親子で図書館へ

「23が60ファミリー賞」を受賞した家庭には、家族読書を楽しむアイデアがいっぱい。特に図書館をどんどん活用しています。2週間に1度は図書館に行き、子どもが読みたい本を自由に選べますが、借りる際には親が読ませたい本もさりげなく加え、読むジャンルの幅を広げるきっかけを作

ります。図書館でおはなし会やイベントがある日に合わせて出かけると楽しさ倍増です。

家族だんらん 本の話題を

また、子どもが本を読みたくなるスペース作りにも気を配っている家庭が多いようで、リビングに本棚を置き、気が向いたときに本を手にとれる環境を作っています。本棚には買った本や借りた本を入れる「未読コーナー」を作り、そこから各自が読みたい本を読めるようにしています。事典や図鑑もいっしょに入れ、子どもがどんどん活用するようにサポートします。

ディスプレーにもひと工夫。子ども目線で表紙が見えるようにし、子どもの「この本、読んでみたい!」という気持ちをかきたてます。

また、本で見たことや興味を持ったことは、できるだけその「本物」に触れる機会を設けている家庭も。野菜が主人公の本を読んだ後は、家庭菜園や料理をする、恐竜の本が好きなら子どもと博物館に行くなど、実際に体験をすることで、子どもの興味や関心はより深くなるようです。

